

多可町生涯学習まちづくりプラザ建設基本計画(案) ・ 多可町図書館基本計画(案) 【概要版】

幅広い年代の学習・交流拠点となる「生涯学習まちづくりプラザ」。図書館を中核施設として、これからのひとづくり・まちづくりの中心的施設を目指します。

多可町生涯学習まちづくりプラザ建設基本計画(案)

中コミュニティプラザは、旧中町中央公民館として昭和48年に建設されました。間もなく50年が経過し、雨漏りや建物の劣化が進んでいます。

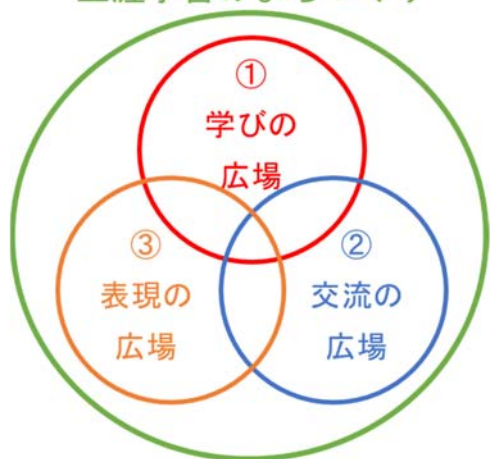
令和3年12月に(仮称)多可町生涯学習センター建設基本計画策定検討委員会から答申を受けた内容を基に「多可町生涯学習まちづくりプラザ建設基本計画(案)」を策定しました。

(主な提案内容)

1. 生涯学習を通じたまちづくりの拠点施設「多可町生涯学習まちづくりプラザ」への名称変更
2. 住民が運営に主体的に参加できる体制づくり

【基本理念】地域社会の中でみんなに出番があるように、生涯にわたって知識を深めるための居場所や集える場の整備をめざす。

生涯学習のまちづくり



- ① **学びの広場** : 図書館を中心に、学びの場を提供する機能
 - ② **交流の広場** : 交流スペースを中心に、語り・つながりを創造する機能
 - ③ **表現の広場** : 多目的ホールを中心に、学習成果を発表・表現する機能
- 3つの機能の調和・循環が「生涯学習のまちづくり」を実現する

① 学びの広場	② 交流の広場	③ 表現の広場	付随施設
<ul style="list-style-type: none"> ■ 図書館 ■ 会議室 ■ DIY室 ■ 和室 ■ 調理室 ■ 音楽室 ■ 男女共同参画コーナー ■ 多文化共生コーナー ■ 自主学習室 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流スペース ■ キッズスペース ■ ボランティアスペース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多目的ホール ■ 準備室 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 駐車場・駐輪場 ■ 広場スペース ■ 芝生広場

※具体的な居室については現在検討中であり、変更される場合があります。

(今後の検討課題)

- 周辺整備として、公共交通(バス停等)の整備についても併せて検討していきます。
- 官民連携を推進し、住民主体の施設運営の方法を検討していきます。

多可町図書館基本計画(案)

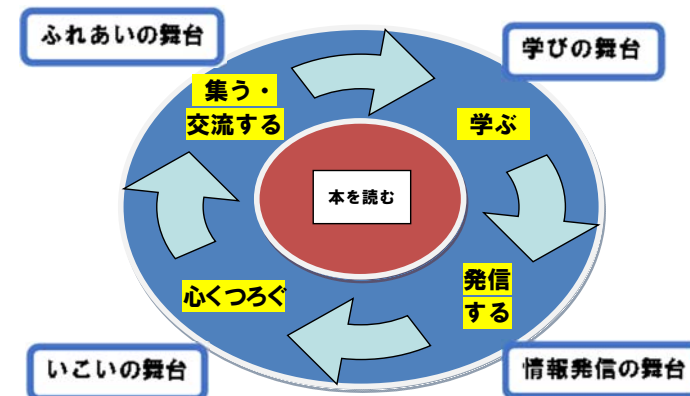
多可町図書館は、昭和54年建設の結婚式場を改修して、平成16年に中町図書館として開館しました。

建設から40年以上が経過し、老朽化が激しく、規模も小さいため蔵書が満杯の状態です。

新しい多可町図書館の基本的な指針を示すため、令和3年12月に多可町図書館協議会から答申を受けた内容を基に、「多可町図書館基本計画(案)」を作成しました。

新図書館の特色

- ① 町民の生活を支援し、暮らしに密着した図書館
- ② 子どもや青少年を育て、学校園の図書室と図書館の連携
- ③ 高齢者を大切にし、ユニバーサルデザイン化を推進する図書館
- ④ 感染対策の推進
- ⑤ 町の誇りを育てる郷土資料の充実
- ⑥ 人材を育て、町内外に情報発信する図書館
- ⑦ 憩いの広場を持つ図書館



新図書館の規模(ハード・ソフト面)

- **開架スペース(一般ほか)**
蔵書約70,000冊、閲覧席(個人用、4~6人用、ソファ、リクライニングシート、静読書室など) 対面朗読室、インターネット接続ブース、図書の消毒除菌装置など
- **開架スペース(児童)**
蔵書約27,000冊、閲覧席(個人用、4~6人用、親子席など)、子どもの遊べる防音スタジオなど
- **その他** ボランティア・サークル用スペース、ギャラリー等展示、談話・喫茶・自販機コーナー、メティアルーム、授乳室、憩いのスペースなど

(建設候補地)



- ・ 面積・市街地機能・周辺施設との連携や相互利用・賑わいの創出を考慮し、総合的に判断。
- ・ 健康福祉センター「アスパル」・子育てふれあいセンター・児童公園・統合中学校(予定)の中心 ⇒ 北アリーナの位置が望ましい
- ・ 自然環境が豊か、アクセスしやすい場所、近隣施設との連携・相互利用を期待し、単体で立地する場所よりも他施設と連携した活動エリア(ゾーン)が形成できる場所